

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【公表番号】特表2012-518164(P2012-518164A)

【公表日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2012-031

【出願番号】特願2011-549604(P2011-549604)

【国際特許分類】

G 0 1 N	33/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/574	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	37/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/533	(2006.01)
G 0 1 N	33/534	(2006.01)
G 0 1 N	33/535	(2006.01)
G 0 1 N	33/532	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 1 2 Q	1/04	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 1 2 N	15/02	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	33/68	
G 0 1 N	33/574	A
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	37/00	1 0 2
G 0 1 N	33/533	
G 0 1 N	33/534	
G 0 1 N	33/535	
G 0 1 N	33/532	B
C 1 2 Q	1/68	Z N A A
C 1 2 Q	1/04	
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/18	
C 1 2 N	15/00	C
A 6 1 K	33/24	
A 6 1 P	35/00	
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月15日(2013.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

癌を有する哺乳動物対象が第1の群に属するか、または第2の群に属するかを决定する方法であつて、第1の群の対象が第2の群の対象よりも白金に基づく治疗によく応答し、

a) 該対象から事前に得られた試料の少なくとも一部に存在するRB M 3タンパク質またはRB M 3mRNAの量を評価し、該量に対応する試料値を决定する工程、

b) 工程a)で得られた試料値を参照値と比較する工程、

該試料値が参照値よりも高い場合は、

c 1) 該対象が第1の群に属すると結論づけ、

該試料値が参照値と等しいか、または参照値よりも低い場合は、

c 2) 該対象が第2の群に属すると結論づける工程

を含む方法。

【請求項 2】

癌を有する哺乳動物対象の白金に基づく治疗の强度のレベルを决定する方法であつて、

a) 該対象から事前に得られた試料の少なくとも一部に存在するRB M 3タンパク質またはRB M 3mRNAの量を評価し、該量に対応する試料値を决定する工程、

b) 工程a)で得られた試料値を参照値と比較する工程、

該試料値が参照値よりも高い場合は、

c 1) 該対象が第1の强度の白金に基づく治疗を施されるべきであると結論づけ、

該試料値が参照値と等しいか、または参照値よりも低い場合は、

c 2) 該対象が第2の强度の白金に基づく治疗を施されるべきであると結論づけ、ここに、該第2の强度は該第1の强度よりも高い、工程
を含む方法。

【請求項 3】

癌が精巣癌、卵巣癌、肺癌、膀胱癌、結腸直腸癌、子宮頸癌、乳癌および頭頸部癌から選択される、請求項1または2記載の方法。

【請求項 4】

白金に基づく治疗がカルボプラチニン、パラプラチニン、オキサリプラチニン、サトラプラチニン、ピコプラチニンおよびシスプラチニン治疗から選択される、請求項1～3のいずれか1項記載の方法。

【請求項 5】

試料が対象由来の腫瘍細胞を含む、請求項1～4のいずれか1項記載の方法。

【請求項 6】

工程a)が、

a I) 試料に、評価されるべきRB M 3タンパク質との選択的相互作用が可能な定量化できるアフィニティーリガンドを添加し、該添加を該試料中に存在するRB M 3タンパク質に対する該アフィニティーリガンドの結合を可能にする条件下で実施し、

a II) 該試料に結合したアフィニティーリガンドを定量化して量を評価することを含む、請求項1～5のいずれか1項記載の方法。

【請求項 7】

a) RB M 3タンパク質との選択的相互作用が可能な定量化できるアフィニティーリガンド、および

b) 該定量化できるアフィニティーリガンドの量を定量化するために必要な試薬を含む、請求項1～6のいずれか1項記載の方法を実施するためのキット。

【請求項 8】

20アミノ酸以下からなり、かつ、配列番号8、16および17から選択されるアミノ酸配列を含む、RB M 3タンパク質フラグメント。

【請求項 9】

癌を有する哺乳動物対象の白金に基づく治疗のための治療予測マーカーとしての、RB M 3タンパク質またはRB M 3mRNA分子のイン・ビトロでの使用。

【請求項 10】

アミノ酸配列が配列番号 5 からなるペプチド、または 20 アミノ酸以下からなり、かつ、配列番号 8、16 および 17 から選択されるアミノ酸配列を含む R B M 3 フラグメントと選択的相互作用が可能な、アフィニティーリガンド。

【請求項 11】

癌を有する哺乳動物対象の白金に基づく治療のための治療予測剤としての R B M 3 タンパク質との選択的相互作用が可能なアフィニティーリガンドのイン・ビトロでの使用。

【請求項 12】

癌を有する哺乳動物対象の白金に基づく治療のための治療予測剤の製造における、R B M 3 タンパク質との選択的相互作用が可能なアフィニティーリガンドの使用。

【請求項 13】

癌を有する哺乳動物対象の治療における使用のための白金に基づく治療剤であって、該対象が高 R B M 3 タンパク質または高 R B M 3 m R N A である、剤。

【請求項 14】

癌を有する哺乳動物対象の治療のための医薬の製造における白金に基づく治療剤の使用であって、該対象が高 R B M 3 タンパク質または高 R B M 3 m R N A である、使用。

【請求項 15】

R B M 3 タンパク質との選択的相互作用が可能なアフィニティーリガンドを含む、白金に基づく治療に対する応答を予測するための診断組成物。